

Sustainability Communication Book 2026

サステナビリティ
コミュニケーションブック
2026





Our Slogan

私たちは豊かな未来のために化学する

素材の特性を引き出す化学の力と、
それを支えるテクノロジーで新たな価値を創造する
それが私たちナガセケムテックスです

for the future

ナガセケムテックス サステナビリティ推進のあゆみ

2021 若手・中堅社員が中心となり 「サステナビリティ推進プロジェクト」をスタート！



3つのマテリアリティ(重要課題)を
特定しました。

1. 環境にやさしい化学工場をつくる
2. 素材・技術の開発で豊かな未来をつくる
3. 働きたい職場環境をつくる



note

◀ 特定までのストーリーを
公式noteで公開

2022-2023

「サステナビリティ推進委員会」 を立ち上げ！

マテリアリティごとに分科会も設置。
体制を強化し、全従業員へサステナビ
リティへの理解を深める活動も充実
させました。



ナガセケムテックスでは、「私たちは豊かな未来のために化学する」をスローガンに、
2021年よりサステナブルな未来社会の構築に向けて着実に歩みを進めています。



One NCXでヒトと地球にやさしい化学企業を目指す！

2024-2025 サステナビリティを “経営の基軸”におき活動開始！

2024年に委員会の機能を経営戦略会議へ移管。2025年からは
社員全員が主役となって、サステナビリティをカタチにしています。

2025 Status

- 「ナガセケムテックス」として
国連グローバル・コンパクトに加盟
- サステナブル調達ガイドラインの発行
- EcoVadis「ブロンズ」獲得

note



◀ 「One NCX」浸透に向けた
ポスタープロジェクトを
公式noteで公開

WE SUPPORT



▲ 評価ページ



Top message

「ヒトと地球にやさしい化学企業」として 次のステージを目指します



経営理念

高機能な化学製品と技術の提供を通じ、
顧客の満足度向上に役立ちながら、
より良い社会実現に貢献する

スローガン

私たちは豊かな未来のために化学する

ナガセケムテックス株式会社
代表取締役社長

森田 貴之

2026年、新中期経営計画がスタートしました。私たちが目指す姿は「ヒトと地球にやさしい化学企業」です。

NAGASEグループにおけるケミカル事業統合の一環として、当社は2025年4月にナガセヴィータの機能性色素事業を、2026年4月に福井山田化学工業を統合し、新たな歩みをはじめました。

事業面では、成長を牽引する先端半導体向け材料に注力する傍ら、アグリ・ライフサイエンス分野など、環境や生命に貢献する未来の事業育成を進めています。今後は拠点の垣根を越えた技術の融合を図り、革新的な製品を生み出し続けることで、常にお客さまの発展に寄り添うパートナーでありたいと考えています。

社員が安心して力を発揮できる安全な職場づくりを進め、ヒトと地球へのやさしさを大切にしたものづくりを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

マテリアリティ ナガセケムテックスが取り組む重要課題

ナガセケムテックスでは、サステナブルな事業活動に取り組むため、マテリアリティ（優先して取り組む重要課題）を3つ特定しています。各マテリアリティの取り組みについては、以降のページでご紹介しています。

✦ *Materiality*

1 環境にやさしい
化学工場をつくる



P6▶ CO₂排出量削減の取り組み



小さな改善を積み重ねて、
“環境を考える工場”へ

✦ *Materiality*

2 素材・技術の開発で
豊かな未来をつくる



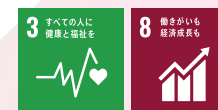
P7▶ 持続可能な資源利用への取り組み



菌根菌でネイチャーポジティブへの挑戦
土の中の“小さなパートナー”と
未来をつくる

✦ *Materiality*

3 働き続けたい
職場環境をつくる



P8▶ 従業員エンゲージメント向上の 取り組み



こころとからだの健康への取り組み
快適な職場づくりに向けて、一人ひとりの
「働く」を支える健康経営



Materiality 1

環境にやさしい化学工場をつくる CO₂排出量削減の取り組み



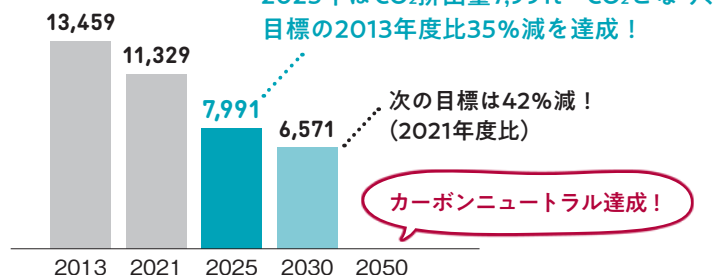
小さな改善を積み重ねて、“環境を考える工場”へ



福井事業所では2022年から、電力をすべて水力発電に切り替えることで、電力使用によるCO₂排出量ゼロを達成し続けています。蓄電池設備には地元の子どもたちが描いた絵をラッピングし、身近に感じられるよう工夫をしています。

2050年までにGHG(温室効果ガス)排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラル(Scope1・2)の達成を掲げています。そのマイルストーンとして、2030年までにScope1・2排出量を2021年度比で42%削減することを目標に、エネルギー効率の向上や設備の改善に取り組んでいます。

2025年の実績※



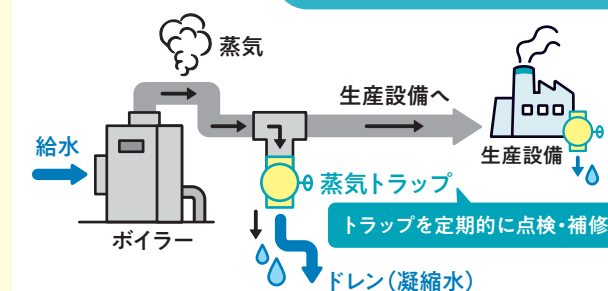
※本グラフは、2026年4月の福井事業所設置前の範囲で算出しています。P10のデータとは対象範囲が異なります。

+Action!

蒸気トラップからはじめる「ムダ探し」で 工場を省エネに

播磨事業所では、生産設備に欠かせないエネルギー源である「蒸気」を効率よく使う取り組みを進めています。蒸気トラップは、ボイラーで発生した蒸気を設備に送り、熱利用の過程で生じるドレン(凝縮水)を自動的に排出し、蒸気のみを効率的に利用する装置です。正常に動作しない場合、ドレンと一緒に蒸気も外に排出され、熱エネルギーのロスにつながります。当事業所では2019年より約500カ所の蒸気トラップを定期点検・補修し、エネルギー効率の向上に努めています。

2019年から累計564t - CO₂削減！





Materiality 2

素材・技術の開発で豊かな未来をつくる 持続可能な資源利用への取り組み



菌根菌でネイチャーポジティブへの挑戦 土の中の“小さなパートナー”と未来をつくる



私たちの食や暮らしは、土と植物に支えられています。その土の中で、植物の根と共生し、養分や水を運んでいるのが菌根菌(微生物)です。当社は、これまで培ってきた化学・材料設計の知見を生かし、菌根菌の力を最大限に引き出す研究を進めています。収穫量の安定化、リン肥料使用量の削減、土壌への炭素貯留によるGHG(温室効果ガス)排出の抑制など、農業生産と環境負荷低減の両立をめざしています。

研究者 Voice

イノベーション推進本部 アグリ・ニュートリション資材開発室
室長 鈴木 信太郎さん



「菌根菌」との出会いは、樹脂素材の研究でシリカの再利用を調査していた際のことでした。農業とは無縁の分野でしたが、植物に養分を届けるこの菌の共生能力に確信を持ち、世界初となる純粋培養技術の商業化に挑みました。こうして誕生した「amxact®」は、肥料高騰や気候変動を打破する次世代資材です。世界の農業における「標準技術」として定着させるべく、現場の皆さまと共に挑戦を続けてまいります。 ※自社調べ



amxact® について
日本版
『Newsweek』に
特集記事掲載中



💡 Question

「菌根菌」って何？

A. 化学肥料への依存を減らしながら、安定した生産をめざせる可能性を秘めた菌

生育比較

▼菌根菌なし

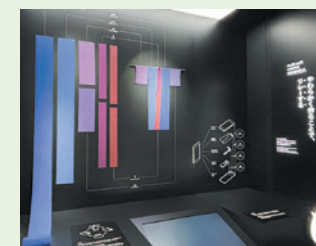
▼菌根菌あり



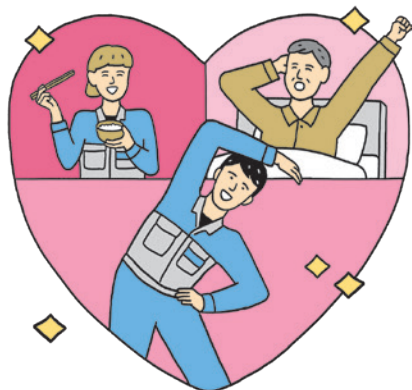
「リンなどの養分の吸収を助ける」、「乾燥などのストレスに強い作物づくりを支える」、「土の粒がまとまり水や空気を通しやすくし、土を健全に保つ」など、植物の根とつながり、細い糸のように土の中へ広がって、さまざまな働きをしてくれると考えられています。

Topics

大阪・関西万博の日本政府館に 展示協力企業として参画

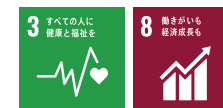


和裁(和服裁縫)の特徴である、「ほどこことを前提に縫う」という伝統的な手法と、当社が開発した環境にやさしい易解体性接着技術が紹介されました。



Materiality 3

働き続けたい職場環境をつくる 従業員エンゲージメント向上の取り組み



こころとからだの健康への取り組み

快適な職場づくりにむけて、一人ひとりの「働く」を支える健康経営



▲足指筋力測定で健康チェック

2025年度、健康診断とストレスチェックの分析から、従業員のパフォーマンスを支える重要課題として「食事」と「睡眠」を特定しました。質の高い睡眠は日中の生産性に直結するため、専門家による「睡眠セミナー」を実施。併せて、健康に配慮した定食提供や、体力測定、ウォーキングイベントを通じた運動機会の創出などの取り組みにより、生活習慣病の予防と組織の活力向上を推進しています。



▲十六穀米を使用した定食を社食で提供



+Action!

組織の状態を客観的に把握し

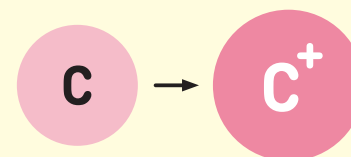
対話につなげるため

エンゲージメントサーベイを活用

株式会社アトラエが提供する従業員エンゲージメント測定・支援ツールを使用し、見えにくい職場の空気を可視化しています。小さな気づきから行動を生み出すことで、持続可能な組織づくりを進めていきます。

2024年度

2025年度



6番目/14段階中

5番目/14段階中



保健師 Voice

経営管理本部 企画管理部
人事課
村中 陽子さん

従業員一人ひとりがいきいきと働き続けられる職場の実現に向けて、こころとからだの健康を守る環境づくりに取り組んでいます！

note



◀村中さんの
「健康」への想いを
公式noteで公開

※調査結果はA～Fの14段階でランクづけ。当社の2025年度実績C+の水準は、調査を利用している同業・同規模他社の平均と同程度でした。



自治体との合同避難訓練

近隣住民約60名が参加

たつの市と災害時の緊急避難場所開放に関する協定を締結している播磨事業所。2025年には防災意識の向上を目的に、自治体と共に西播磨地域で初となる合同避難訓練を実施しました。



通算4回目の協賛

学生向けスポーツビジネスコンテスト



ヴィクトリーナ姫路スポーツビジネスコンテストに協賛。コンテストを通じて、課題解決力や発信力を養っています。

note

Question



「スポーツビジネスコンテスト」
についても詳しく知るには？

A. 公式noteで公開
各賞の企画についても紹介しています

地域社会と共に

ナガセケムテックスが取り組む社会貢献



ナガセケムテックスでは、
サステナブルな未来社会の実現のため、
地域と連携した社会貢献に取り組んでいます。

Topics

福井事業所で地域に根ざした イラストコンテストを開催

この取り組みを通じて、子どもたちが地域や社会との関わりに目を向け、自分たちの身近な世界について考えるきっかけとなることを目指しています。



事業所長 Voice
福井事業所 事業所長
水上 英明さん



障がい者サッカーイベントを支援

共生社会の実現を目指し、一般社団法人パラフットボールに協賛。障がいを持つ方やご家族、当社従業員とスポーツ交流ができる場を設けています。



主催者 Voice
一般社団法人 パラフットボール
中山 剛さん

障がいを持つ方は、日常生活では健常者以上に身体を動かす機会が少ないのが現状です。毎月1回、障がいを気にすることなく参加者みんなで身体を動かすことができる貴重な場となっています。



ナガセケムテックス サステナビリティデータ集

データの対象期間 2023年4月～2026年3月

※2025年度ナガセウィータより岡山事業所を統合、福井山田化学工業を子会社化

※2024年度堺工場を閉鎖

環境 ※データバウンダリー ナガセケムテックス(国内/子会社含む)

電力使用量

項目	2023年度	2024年度	2025年度
電力総使用量 (MWh)	15,679	15,871	21,362
再生可能電力総使用量 (MWh)	3,289	6,851	12,959

水資源

項目		2023年度	2024年度	2025年度
総取水量 (ML)	上水・工業用水	47.0	43.7	104.2
	井水	2,645.6	2,336.9	2,974.3
	その他	3.3	0.3	0
	合計	2,696.0	2,380.9	3,078.5
総排水量 (ML)	河川	2,677.9	2,367.3	3,006.4
	海	0	0	0
	下水	9.2	8.7	68.6
	その他	0	0	0
	合計	2,687.0	2,376.1	3,075.0
総消費量 (ML)		8.9	4.8	3.4

温室効果ガス

項目	2023年度	2024年度	2025年度
Scope1 ^{※1} (t-CO ₂)	4,542	4,510	6,712
Scope2 ^{※2} (t-CO ₂)	5,377	3,723	3,506 ^{※3}
Scope1,Scope2 合計 (t-CO ₂)	9,919	8,233	10,218

※1 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセスなど)

※2 Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気などの使用に伴う間接排出

※3 FIT補正率は暫定値1.00を使用

廃棄物

項目	2023年度	2024年度	2025年度
一般廃棄物量 ^{※1} (ton)	55	44	46
産業廃棄物量 (ton)	2,127	2,961	2,803
特別管理廃棄物量 (ton)	1,348	1,235	1,968

※1一般廃棄物は非リサイクルのみを抽出

人権・労働 ※データバウンダリー ナガセケムテックス(国内/子会社含まず)

労働災害

項目	2023年度	2024年度 ^{※4}	2025年度
労災発生 (件)	5	8	10
休業労災件数 (件)	1	5	0
休業日数 (日)	43	29	0
度数率 ^{※1}	0.964	4.466	0
強度率 ^{※2}	0.034	0.026	0
労災頻度 ^{※3}	0.971	1.431	1.678

※1 度数率:(休業1日以上)休業労災件数/総労働時間数×1,000,000

※2 強度率:延べ労働損失日数/延べ実労働時間×1,000

※3 労災頻度:従業員100人あたりの全災害件数(休業災害+不労災害)

…(「休業+不労災害件数」/「総従業員数」)×100

※4 派遣社員を含めた全従業員を対象に算出方法を変更

雇用

項目	2023年度	2024年度	2025年度
総従業員数 (人)	550	549	572
派遣社員雇用率 (%)	2.1	3.0	4.8
障がい者雇用率 ^{※1} (%)	2.9	3.4	3.1
従業員の女性比率 (%)	23.0	24.4	24.5
中途採用比率 ^{※2} (%)	53.1	60.0	38.0
育休取得率 (男) (%)	75.0	80.0	71.0
育休取得率 (女) (%)	100	対象者なし	100

※1 特例子会社ナガセミライの数値を含む

※2 労働施策総合推進法に基づく中途採用比率の公表

健康経営^{※1}

項目	2023年度	2024年度	2025年度
健康診断受診率 (%)	100	100	100
要受診実施率 (%)	100	100	100
特定保健指導実施率 (%)	91.0	84.3	88.4
ストレスチェック受検率 (%)	95.7	94.8	95.5

※1 特例子会社 ナガセミライの数値を含む

Performance

売上高

270

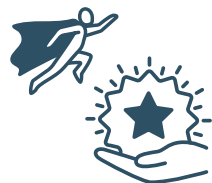
(単位:億円)



営業利益

29

(単位:億円)



営業利益率

10.7%



売上高
研究開発費率

8.2%



数字で見る ナガセケムテックス

2026年3月末時点のナガセケムテックスの概要をまとめました。ナガセケムテックスは、今後さらに、サステナビリティ活動を推進することにより社会に貢献し、世の中に求められ続ける企業、働き続けたい企業としてさらなる拡大、発展を目指してまいります。



Product ※自社調べ

世界シェア
NO.1素材数※

4



国内シェア
NO.1素材数※

7

国内特許数

150



大学との
共同研究数

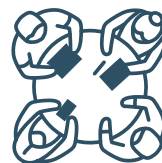
13



Company

従業員数

572



産休・育休取得者復職率

(男・女)

100%



男女比率

76:24



平均有給
取得日数

14日





Sustainability Communication Book 2026

サステナビリティコミュニケーションブック2026

発行元

ナガセケムテックス株式会社

経営管理本部 サステナビリティ推進室

〒550-8668 大阪市西区新町1-1-17

<https://group.nagase.com/nagasechemtex/>



ナガセケムテックスは(一社)障がい者自立推進機構のオフィシャルパートナーです

表紙イラスト

パラリンアート(障がい者アート)

作品名:未来をはぐくむ
科学の力

作者名:ほしのともえ



作者コメント

「見えにくいものを探す」というメッセージ性をイメージし、事業と結びつくモチーフや未来へ歩む子どもたちを描きました。